



第34回例会報告(3月11日)

【出席報告】

・会員数	51名	・出席数	34名	・欠席数	17名
・当日出席率	78.04%	・前々回修正出席率	97.72%		
<欠席会員> 檜垣(巧)、檜垣(賢)、飯、菅、栗西、松田、光藤、竹田、渡辺(易)					
〔免除会員〕 青野、原田、門田、松本、宮本、村上、坂本、八木					
<2/25欠席補填> (2/16今治南) 青野(賢)、檜垣(巧)、平尾、飯、松木、西本					

会長報告・愛媛信用金庫 今治支店 支店長 岡田善雄氏、株式会社愛媛銀行 今治支店 常務取締役支店長 徳丸謙一氏の入会手続きが、規定の段階を経て理事会にて承認されました。異議のある方は7日以内に申し出て下さい。岡田氏の推薦者は、八木会員と檜垣圭之介会員です。また、得丸氏の推薦者は、野間会員と重松会員です。

・ロータリー米山記念奨学会より、大澤会員に米山功労者の感謝状が届きましたので贈呈致しました。

幹事報告・3月13日(土)、14日(日)開催の地区大会ご出席の皆様はどうぞ宜しくお願い致します。

・4月8日(木)18:30より、今治国際ホテル 松泉亭にて花見夜間例会開を催致します。

外部卓話 アキクリニック院長 平田勝豪氏 「広がる気分障害の裾野」

吉良敏彦会員:このような景気が良くない時代は経営者や従業員にもストレスが溜まりやすい。特に経営者にはトップの孤独がある。ヨーロッパやアメリカでは精神科の先生のカウンセラーを受けるのはある意味ではステータスであるといわれている。何でも相談できる心療内科の先生と知り合いになることは良いことと思うので講師にお願いした。先生は山口県出身、愛媛大学医学部卒業、同大学付属病院、県今治病院を経てアキクリニックの院長をされている。現在33歳。

平田勝豪氏:最近世間ではうつ病が話題になっている。愛子さまも先日不登校になられ心の問題がクローズアップされている。今治市の人口は17万2千人だが、昨年当院の延べ外来患者数が2万人を超えた。この数字は明らかに異常。いかに困っている人が多いか、今年も増え続けている。当院へ相談にこられた方で、1、引きこもる。2、仕事には行けないが遊ぶことはできる。3、上司に叱られるとすぐ落ち込む。4、不登校だけど携帯やゲームはできる。5、過食、拒食で体重の変動が激しい。6、月経がこない。7、緊張するとおなかが痛くなる。など「私うつ病です、診断書をください」といわれる方は、ほぼうつ病ではありません。何故、心の病が増えているのでしょうか。デカルトの言葉で「我思う、ゆえに我あり」が有名ですが、産業革命や資本主義の確立があった後、文化、伝統、習慣また宗教などでの結びつきがあったものが、どんどん無くなってしまい、自分一人で生きていくという個人主義が到来、社会が解体し個人が肥大化して自分ではできるんだというなかばナルシストの人が増え、うつや引きこもりが爆発的に増えて来たのではないかと分析している。自己中心主義と自我の確立はまったく違うもの。自分を確立するためには他人を認めなければいけない。自分の祖先を30代遡ると、2の30乗で約10億人になる。人と人とは常に結びついているということを特に若い人に知って欲しい。子供が大きくなり大人になるわけで、子供に何をすべきかをお話する。特に遊びと読書が大切と考える。ルソーもいっているように、「自然は、子どもは子どもであることを望んでいる」。この順番を逆にして、たとえば受験勉強など主体性をなくして、大人が詰め込んでしまうと、成熟していない何の味わいも無い、すぐ腐っていく促成の果実を結ばせてしまう。あくまでも心の状態をきちっと把握しながら教育を行うことが必要。遊びも大切で幼稚園の砂場で一生分の社会性がつくとされている。創造性、感受性を創ってくれる所。子供の叱り方も大切。1回叱ったら3回ほめないと成長しなくなる。読書は創造力、特に挫折した時の創造力を培う上で非常に重要。子どもに読書の必要性を教えた上で、一緒に読書をすることが大切です。最後に、子どもから「この世に生まれてよかった」。親として「頑張って子育てして良かった」という国にしていきたいと思えます。



<ゲスト> アキクリニック院長 平田勝豪様

次回例会(3月18日)

【地区大会報告】

<会員誕生祝> 小堀陽一郎氏(3/21) 村上 修三氏(3/23)

<結婚記念祝> 大澤 正尚氏(3/20) 冠 康秀氏(3/21)

〔 笹 〕